

食

農

ひとくち情報

2025年
5・6月
合併号
東北農政局これは
日本一!

令和6年度「飼料用米多収日本一」受賞者決定

多収を実現し、先進的で他の模範となる飼料用米生産者を表彰する「飼料用米多収日本一」において、全国から119件（うち東北から55件）の応募がありました。**東北管内では1名が全国表彰、2名が東北農政局長賞を受賞しました。**

全国表彰のうち全国農業協同組合連合会会長賞を受賞した福島県の猪俣さんは、営農管理システムや土壌EC測定を活用した可変施肥等により省力化・低コスト化を図りつつ、800kg/10aという高単収を実現しました。

全国表彰（単位収量の部）

受賞	全国農業協同組合連合会会長賞
受賞者	猪俣 一徳
所在地	福島県 大沼郡会津美里町
収量	単収： 800kg/10a

東北農政局長賞

部門	単位収量の部	地域の平均単収からの増収の部
受賞者	高橋 俊恵	八木沼 源一
所在地	青森県 五所川原市	福島県 石川郡浅川町
収量	単収： 763kg/10a	地域の平均単収からの増収量： 162kg/10a

全国表彰を受賞されたみなさん
(於：農林水産省本省)



※東北管内の受賞者のみを記載しました。詳細はホームページに掲載しています。

「飼料用米多収日本一」に関する情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。
(https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/suitou/siryoumai_contest.html)

【上記紙面の問合せ先】東北農政局生産部生産振興課 022-263-1111（内線4088）

とうけい
New! New!
統計
情報
じょうほう

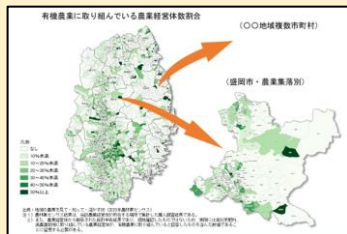
統計データによる農業の
現状や将来の姿の見える化
を支援します!

随時
募集

県、市町村、JA等の農業関係機関が、地域計画の策定をはじめとする地域農業の課題を解決するために統計データを用いた地域農業の見える化（市町村別・農業集落別の色分け地図作成、地域農業の現状及び将来予測、制度・政策効果検証など）を行いたい場合に、各県拠点では、農業関係機関等からの要望に応じて、

- ① データの所在案内
- ② 研修、講習会、勉強会の実施
- ③ 技術指導・助言

等のデータ分析を支援いたしますので、お気軽にご相談ください。



◎東北農政局HP
統計コンシェルジュ問い合わせフォーム
https://www.contactus.maff.go.jp/j/tohoku/form/toukei/kikaku/toukeidata_toiawase.html



毎年6月は「食育月間」です

食育月間では、国、地方公共団体、関係団体が協力して食育の一層の浸透を図ることとしています

東北農政局では、「共食と食育」をテーマに食育セミナーを開催し、第9回食育活動表彰の受賞者による活動事例発表やパネルディスカッションを行うほか、消費者展示コーナーで「共食」に期待される効果や簡単に栄養バランスの取れた食事について紹介する取組などを実施します。



◆食育セミナー

開催日時 7月2日（水）13:30～15:30

開催方法 会場参加（30名）及びオンライン（100回線）

「食育」に関する情報は、東北農政局HP「とうほく食育ひろば」をご覧ください。
<https://www.maff.go.jp/tohoku/syouan/syokuiku/index.html>

毎月食育に関する情報をメルマガで発信中です。
ぜひこの機会に会員登録をお願いします。お待ちしております。
https://www.maff.go.jp/tohoku/syouan/syokuiku/mail_mg.html



地域からの便り



各県拠点では「農山漁村の季節の風物詩」、「農産物直売所、農漁家民宿等の取組」、「村おこしイベント」、「農山漁村の行事、お祭り」、「郷土料理」など東北各地域の取組や様子を東北農政局HPで紹介しています。

新たな食文化の創出「大崎ジビエ」を東北から！

—宮城県・大崎市—



大崎市では、令和5年7月に旧真山小学校を改修した東北初のイノシシ専用の食肉処理加工施設が完成。令和6年4月から市内3か所の道の駅で「コース」「切落とし」「挽肉」の販売を開始しました。

(地域からの便り 2025年2月20日掲載)

写真：「大崎ジビエ」を使用した「ム、フランク」等の試作品（大崎市 提供）

そしてこの度、合同会社ジビエの郷おおさきが運営する「大崎市ジビエ食肉処理加工等施設」が、認証機関により東北2番目の「国産ジビエ認証施設（第40号）」として認証されました。

(農林水産省プレスリリース 2025年4月25日掲載)

= 農政トピックス =



「会津地鶏」

登録番号 第166号

〔生産地〕福島県会津地域及び福島市

〔登録生産者団体〕会津養鶏協会

※詳細については以下のHPを参照



東北で38産品目の地理的表示（GI）に登録されました。

(登録年月日：令和7年3月18日)

地理的表示（GI）保護制度・知的財産に関する詳しい情報については、農林水産省HPをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi_act/register/0166/index.html

農作業中の熱中症を予防しましょう！

熱中症による救急搬送人員数は、身体が暑さに慣れていないGW前後や梅雨明けに急増する傾向があります。

4つのポイントで農作業中の熱中症を予防しましょう！

- ① 高温時の作業は極力避ける
- ② こまめな休憩と水分補給
- ③ 単独作業は避ける
- ④ 熱中症対策アイテムの活用

詳しくはこちらから

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/nechu.html

【問合せ先】東北農政局生産部環境・技術課022-263-1111（内線4541）

「豚熱」・「アフリカ豚熱」の侵入防止！

豚熱は、東北では令和2年に山形県の農場で発生以降、宮城県と岩手県で発生しています。また、野生イノシシの豚熱感染は、東北全県で確認されています。

近隣国では、豚熱及びアフリカ豚熱の発生が継続しており、侵入リスクが高い状況が続いていますので衛生管理を徹底しましょう。

豚熱情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html>



アフリカ豚熱情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>



野生イノシシの豚熱検査情報情報はコチラ

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/wildboar_map.html



目的の二次元バーコードがうまく読み込めない場合は、指などで不要な二次元バーコードを隠した状態で読み込んでください。

農村振興部から

事業実施主体

優良事例紹介

【会津磐梯農泊推進協議会】

R5～6年度実施
(福島県磐梯町)

日本百名水にも指定された磐梯山麓からの湧き水を使った農業体験、会津地域仏教発祥の地とも呼ばれる歴史ある史跡「慧日寺」や国の重要無形文化財である『巫女舞』など、新しい体験プログラムの検討及び造成等を行いました。

◆取組内容

- 地域の食文化発信
- 地域の伝統文化体験、自然体験メニューの充実
- 飲食加工品（六次化商品）の開発
- モニターツアーの実施
- WEB上で体験や宿泊の申し込みができる仕組みの構築等



『巫女舞』体験



日本酒の飲み比べ体験

■農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）のうち
地域資源活用価値創出推進・整備事業（農泊推進型）

農泊の運営主体となる地域協議会等に対して、ソフト・ハード両面から一体的に支援します。

1. 農泊推進事業（農泊の推進体制整備や観光コンテンツの開発、Wi-Fi等の環境整備、新たな取組に必要な人材確保等の活動を支援）

- ◆事業実施主体：地域協議会等 ◆交付率：定額（上限500万円／年等） ◆実施期間：2年間
- ◆農泊推進体制：中核法人を中心として、地域が丸となって、**農泊をビジネスとして取り組むことが重要**

2. 施設整備事業（古民家等を活用した滞在施設、体験・交流施設等の整備、農家民泊等における小規模な改修等を支援）

- ◆事業実施主体：市町村、農泊の中核を担う法人等 ◆交付率：1／2（上限：原則2,500万円等）

「農泊」の推進に関する詳しい情報については、農林水産省ホームページをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/nouhakusuishin/nouhaku_top.html

問合せ先：東北農政局農村振興部都市農村交流課 電話：022-263-1111（内線4065,4199）



◆「食・農ひとくち情報」の詳しい情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。<https://www.maff.go.jp/tohoku/hitokuti/index.html>

◆「食・農ひとくち情報」の問合せ先：東北農政局企画調整室支援チーム
022-263-1111（内線4402、4076）



@MAFF_TOHOKU
東北農政局 公式 X
アカウントはこちら
@maff_Tohoku
東北農政局 公式
Instagram
アカウントはこちら

